

日本ボーイスカウト山口県連盟山口第3団



ワクワク自然体験あそび2022
(県庁、亀山公園周辺でのウォークラリー)

山口新聞 令和5年(2023年)8月26日



「遠い外国が近い存在に」世界スカウトジャンボリーに参加3人が知事に帰国報告

韓国で1～12日に開かれた世界スカウトジャンボリーに参加した日本ボーイスカウト県連盟のスカウト3人が25日、県庁を訪れ、村岡副知事に帰国を報告した。
県内から派遣されたのは、光第2団の岩本美奈さん(16)＝光高校1年、山口第3団の広地孝晃さん(15)＝防府

高校1年、宇部第15団の伊東篤史さん(17)＝豊進高校2年。同ジャンボリーには170の国と地域から約4万人が参加し、交流を深めた。
3人は同連盟の友田宏幸理事長らと訪問。村岡知事は活動をねぎらい、「世界の皆さんと交流し、さまざまな体験をしたことは貴重。この経験を生かし

て成長し、国内、世界へ羽ばたくことを願う」と述べた。
広地さんは「フラジルのスカウトと仲良く話せたのが楽しかった。遠い存在だった外国が近くになった気がする。もっと英語を勉強して、海外の人と話してみたいと思うきっかけになった」と話した。(平岩和也)

当団体の活動概要

創立から60年 山口市内を中心に、スカウト活動を実施。
日本ボーイスカウトは昨年100周年、イギリスで始まる。
阿知須きらら浜公園で 2013年 日本ジャンボリー
2015年 世界ジャンボリー (世界152国、約3万4千人参加)

現在、50名の団員で活動中

○指導者・スタッフ

団委員長、育成会長、隊長、副長 計12名

○スカウト

- ・ビバースカウト隊10名 (小1, 2年)
- ・カブスカウト隊13名 (小3～5年)
- ・ボーイスカウト隊12人 (小6、中1～3年)
- ・ベンチャー隊1名 (高校1～3年)
- ・ローバ隊2名 (大学生) 2名

○スカウト活動等(目標キーワード:「仲間」、「自然」、「挑戦」)

- ①野外活動センター: 県内各地で年2～3回宿泊(キャンプ含む)訓練、登山、魚釣り、ウォークラリー、国際交流等、様々な活動
- ②ボランティア活動: 道路・海岸清掃、災害被災地の土砂撤去、年末には、ユニセフ支援、災害被災地支援のための街頭募金等
- ③25WSJ(韓国:2023年)にベンチャー隊1名が参加

➔ 知識でなくリアルな自然体験の積み重ねから
リーダーシップ、協調性、たくましさなどを育む

日本ボーイスカウト山口県連盟山口第3団

区分	ビーバー隊	カブ隊	ボーイ隊	ベンチャー隊
制服				
在籍期間	小学1年生から	小学3年生から	小学6年生から	高校1年生から
活動のねらい	みんなとなかよくなる 自然に親しむ	自分で考える 自分でやりぬく	技能を身につける 人のために役に立つ 自発的に活動する	



日本ボーイスカウト山口県連盟山口第3団

解決したい課題

①指導者不足、高齢化、指導者のスキル向上

- ・スカウト隊員増加に伴い、活動に伴う安全確保が重要であるが、指導者不足、高齢化が課題。
- ・指導者の全体会議(月に1~2回)を実施しているが、指導者不足、高齢化の解消と将来の活動持続のため、指導者養成の方策を検討し、計画的な実施が必要。
- ・ボーイスカウト山口連盟、日本連盟主催の指導者講習会は毎年数回開催されているが、参加者が少ない。積極的な参加を促す方策が必要。
- ・スカウトの保護者に、将来の指導者になって欲しいが活動への支援への理解が得にくい。

②情報発信、HPの見直し

- ・ボーイスカウト活動の素晴らしさをもっとPRし隊員の新規募集だけでなく、将来、指導者になりうる人材の発掘につながる情報発信の仕方をもっと模索すべき。
- ・日本ボーイスカウト山口県連盟山口第3団HP(<https://yamaguchi3dan.jimdosite.com/>)近年、HPの見直しを保護者の有識者の支援で行ったが、プロボノさんにご意見をいただきたい。特に、HPを最新版としてのアップが継続でき、更新が簡単な方策があれば取得したい。

③活動の拠点、倉庫等の確保

- テント等、活動のための資材の保管場所が3か所と分散しており、活動の運営が非効率。

創出したい成果・成果物

①指導者不足、高齢化解消、スキルアップ

- 将来、ボーイスカウトの指導者、サポーターへの動機づけ及び指導者のスキルアップの方策

②情報発信、HPの見直し

- 指導者が、活動のお知らせや報告を随時アップでき、最新の情報を保持できるノウハウの取得
- SNSの利用拡大のためFB、ラインの活用方法。参加者の有無の一覧作成、活動状況の保護者への情報発信 等

③活動拠点等の環境アップ

- 活動するための拠点、倉庫等の確保
- 行政等からの支援策

求める人材

- 持続可能で責任が持てる団体を目指すにあたり、ご指導していただける方。
- 効率的で、わかりやすい情報発信を行うため、HPの見直しを指導していただける方。
- 将来的な指導者育成に繋がるノウハウなどをご指導していただける方

日本ボーイスカウト山口県連盟山口第3団

支援受入期間	11月以降 期間は2～3ヶ月程度
支援受入のスタイル	<p>○ リモート(Web会議、メール、電話)での支援 (月2回程度のリモート会議(11月～)) 参加していただくプロボノさんと課題を共有していただき、解決策のアドバイスをいただきたい。</p> <p>○ リレー(①→②)方式の支援 可能な範囲で11月～1月の活動において、課題別プロボノさんにリレー方式で参加していただき、課題に対する解決策のアドバイスをお願いしたい。</p> <p>①指導者の確保 等 → ②HP等の見直し</p> <p>参考) 1月は宿泊訓練、その他は1日での活動(4回程度)の予定</p>
支援受入の希望曜日 希望開始時間	<p>平日： 19:00～ (Web会議)</p> <hr/> <p>休日： 土・日・祝日 19:00～ (Web会議)</p>
打合せの開催頻度	月1～2回程度
現地支援について	<p>支援受入 <input checked="" type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 否</p> <p>受入希望タイミング： 開始時 ・ <input checked="" type="radio"/> 実施中 ・ 終了後 ・ いつでも</p>

NPO法人つなぐ

【定款にある目的】

若者一人一人が輝く未来をつくるため、地元への就職・創業が実現できる環境を整え、「まち」「ひと」「しごと」のハブ機能を構築し、地域の未来を自ら創造できる人材の育成に寄与すること

当団体の活動概要

長門市から進学就職で出て行った若者が戻っていないことに対策すべく、長門市にも働く先があること、挑戦している人がいることを発信したり、キャリア教育・ICT活用のお手伝いを行っています。テーマは「戻って来たくなる長門市」「長門市でイキイキと働く人を増やす」です。



ながとの市民にもっと知ってほしい！情報発信力強化 (とくにNPOとしての活動報告)

解決したい課題

報告書の作成、HPでの記事掲載、SNSでの発信など情報発信をやっているつもりであるが、活動して5年。今だに言われているのが「**何をしているのかわからない**」です。

1. NPOの活動報告書のブラッシュアップ

⇒アニュアルレポートとして作成

市への提出、総会での共有、HPでの掲載を目指したい

(参考) 現在のものは次ページに掲載

※お手伝いに入る学校や公民館などには認識してもらっています。一番は「市役所」の担当課以外の方々に知ってもらえるものにしたい。また、同じように活動する市外県外の方に知っていただく事です。

2. 「◎◎をしているNPO」

⇒分かりやすい軸を作り、HPやSNSで網羅的に発信。認知をあげ、そういう情報を必要とする人に見てもらい切磋琢磨できる団体になりたいです。

創出したい成果・成果物

第1目的は、具体的に、見てもらいやすい資料としての『活動報告書』をまとめ、広く周知活動に使っていきたい。

⇒PPや動画にするなど、

見てもらいやすい形にまとめたい

求める人材

・アイデアだけではなく、それを形にすべく伴走し、形にするまでの手伝っていただけの方

⇒今年度の活動報告として作りたい

昨年度作成した活動報告書①

- ・記録としての内容を重視 →このイベントごとの資料が30枚ある。
(収入と費用については、別表にまとめてある)

事業実施報告書

事業名：会報誌Vol.16・Vol.17・会員企業ハンドブック

作成日付 令和5年 3月31日(金)

報告書作成者： 原田

事業区分	①
実施日時	令和4年4～令和5年3月
主催者名	NPO法人つなぐ

NO	印刷数
Vol.16	500部
Vol.17	700部
会員企業ハンドブック	2000部

【事業概要とその成果】

《ねらい》

長門市内外の人々に長門市しごとセンターの紹介および本市の「まち」「ひと」「しごと」の魅力や可能性を発信することで長門で働きたいと思う人を増やす。これは「ながと6G構想」に基づく「産業人材の創出」および「地域資源の価値向上」に資する事業である。本市の新たな価値の創造およびその言語化を通じてモデルケースを提示し、自らもやってみようとする意欲を喚起することで、潜在的な労働力の掘り起こしをめざす。

(内容)

企業紹介では、未来を担う人材獲得につながる情報発信を目指しており、現場で働く人と経営・管理の立場の双方に話を聞いている。現場で働く人には「自分も働いてみたい」と感じてもらえるように自身の仕事や職場の魅力など、経営・管理の立場の人には「企業の思い」「目指すところ」「新しい取り組み」等聞き取り発信している。また、取材の様子をホームページやFacebookなどのSNS媒体でも発信し、広く地域企業の魅力を伝えていけるように工夫している。加えて、企業と高校生のつながりをさらに深めるため、会員企業ハンドブックを作成し、合同企業ガイドンス等で配布する。

(配布場所)

会員企業・個人会員・長門市内各所(一部市外)・HP・Facebook等での掲載・合同企業ガイドンス



表



5月号：アポロジャパン



表



5月号：シンラテック



表紙



【19社掲載】

ホテル椿貴館・株式会社西京銀行長門支店・萩山口信用金庫・JA山口農長門統括本部・深川養鶏農業協同組合・医療法人人生山会青木病院・ヤマネ工建設株式会社・株式会社 清和・こここ株式会社・ながとてれび株式会社・有限会社桜葉・フジツ株式会社・株式会社中原組・株式会社 維新不動産・医療法人社団成福会岡田病院・株式会社シンラテック・医療法人 西祐会三興病院・特定非営利活動法人つなぐ

事業実施報告書

事業名 職業体験『林業プログラム』

作成日付 令和4年12月22日(木)

報告書作成者： 原田

事業区分	③
実施日時	令和4年11月～12月
主催者名	学校法人角川ドワンゴ学園N/S校 共催・後援 共催：NPO法人つなぐ・後援：長門市 広報・告知方法 各中学校へチラシ配布・ホームページ・FacebookへのSNSへ掲載・等

【事業概要とその成果】

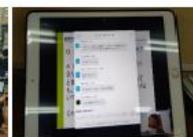
《事業の概要》

◎学校法人角川ドワンゴ学園とNPO法人つなぐのイベントでは次の3つを目的としている。①長門市内の産業や働く人を知ってもらう機会を作ること、長門で働くことを選択肢の1つにしてもらう。②長門で育つ中高生に、学校法人角川ドワンゴ学園の生徒をはじめ、多くの人にふれあうことで刺激を受け、広い視野をもった人材に育てる。③交流人口の拡大。

◎職場体験『林業』をテーマに以下3つのイベントを実施。【第1弾】専門家に学ぶトークセッション【第2弾】全国の中高生とワークショップ【第3弾】長門市内の林業体験。

◎これは「ながと6G構想」に基づく「Glocal(世界)」と「Gap(差別化)」に資する事業で、長門市外の広域から「ここ(長門)にしかない価値」や魅力を求めて訪問してくる仕組みの提供による交流人口拡大と、それによる「ふるさと長門のよさ」を市民に伝えることで地域資源の再発見・価値向上に資する。

実施名	森と生きるに密着～森林とSDGsの関係は想像以上に深い～【第1弾】トークセッション
実施日時	令和4年11月10日(木) 13:30～15:40
実施場所	日置中学校教室(オンライン)
参加者数	78名 【内訳】日置中2年生 46名、NS高32名 つなぐスタッフ3名その他2名
登壇者	・農林水産省林野庁森林整備部計画課企画班班担当課長補佐 三間知也氏 ・住友林業株式会社山形部大阪事業所所属 坂口精一郎氏 ・株式会社シンラテック代表取締役社長 近藤友宏氏
内容	ゲストは3名で、①農林水産省林野庁森林整備部計画課企画班班担当課長補佐 三間知也氏『日本の森林林業の現状/課題/可能性』、②住友林業株式会社山形部大阪事業所所属 坂口精一郎氏『住友林業の目指すカーボンニュートラルな社会』、③長門市で林業を行う、株式会社シンラテック代表取締役社長 近藤友宏氏『長門市林業の取り組み紹介、森林と関わりの中で感じる事』。各々多様なデータや、写真・動画などをもとに分かりやすく説明をした。チャット機能を活用し、生徒たちにとって貴重な「知る機会」「話す機会」「体験する機会」を意図して実施した。
成果	・今回、日置中学校の授業として開催したため、課題であった「長門市の参加者」を確保でき、学校法人角川ドワンゴ学園N/S高の提供する学びに飽きず、全国の中高生との相互刺激を体験してもらうことができた。 ・林業について、国(省庁)の専門家に加え、長門市で実際に働いている人の話を聞く機会を作り、自分たちの住む長門市という場所が国や世界につながっているという学びを提供できた。 ・ツールの活用では、初チャレンジとして1人1台のタブレットで参加し、チャット等を使って個人として意見交換するなど、日置中学校2年生のクロスでのトークセッションに挑むことができた。 【当日アンケートの概要】・日置中2年生：参加満足度 85% 「林業や木のことについて学びたい機会になりました。」 「林業従事者になることも進路に入れられたことや最新の技術を知ることができた。」 「改めて将来について考えることができました。」 「木のことについてや環境を大切にすることを行動がわかりました。」 「お話を真剣に聞き、自分のできることを考えることができました。」 「近くにある森や木のことを考え直すきっかけになった。」など。



昨年度作成した活動報告書②

- ・事業ごとの「一覧」を作成。
- ・長門市の構想とも連携した資料も作成

◎令和4年度（2022年度）NPO法人つなぐ事業 一覧

- 事業区分
 ①地域産業の振興及び創業支援に資する事業
 ②起業家層の向上に資する事業
 ③「ひと」「しごと」のハブ機能に資する事業

実施日	曜日	時間	事業区分	題名	内容	お祝い	アンケート結果	参加人数	参加費	参加者属性			参加者詳細			専門士の関与		講師	料金		継続利用	
										参加者	スタッフ	見学者	参加者	参加者	参加者	参加	参加		有料	無料		
4月21日	木	14:00-16:00	①	R4年度の使える補助金を早く見よう！	補助金活用勉強会	企業家支援	中止	0														
5月29日	日	9:30-12:30	②	スマホ1台で事業アップ「3A SNS活用講座」	SNS講座/企業向け	企業等の情報発信担当者向けSNS活用のスキルアップ	受講後の満足度、肯定的評価100%	15	15	13	1	1	1	1	1	13	1	中島企業塾塾士 藤井 浩一 氏	500	-	-	
6月3日	金	9:00-10:00	③	東松本市と地域企業をつなぐ合同企業ガイダンスin長門	合同企業ガイダンス【夏】	採用支援	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8月29日	木	14:00-19:00	②	Excel初心者講座	Excel講座（初級編）	パソコンスキルアップ講座	受講後の満足度、肯定的評価100%	15	13	10	2	1	1	1	1	6	13	1	Mr.Bamboe 伊藤 弘行 氏	1,000	-	PC貸出
9月16日	金	18:15-21:15	②	Excel初心者講座	Excel講座（初級編）	パソコンスキルアップ講座	受講後の満足度、肯定的評価100%	15	16	12	3	1	1	1	1	8	16	1	Mr.Bamboe 伊藤 弘行 氏	1,000	-	PC貸出
11月17日	木	9:20-17:30	①	中小企業大学校サテライト・ゼミin長門	ネット上につなげるハブ活用講座	ネット上につなげるノウハウ	受講後の満足度、肯定的評価100%	15	8	2	3	2	1	1	1	2	4					
2月11日	土	10:00-12:00	②	Microsoftと仕事に役立つ機能	Microsoft講座	パソコンスキルアップ講座	受講後の満足度、肯定的評価100%	12	9	8	1	1	1	1	1	1	8					
2月11日	土	13:30-16:30	②	Windows【Windows11】って	Microsoft講座	パソコンスキルアップ講座	受講後の満足度、肯定的評価100%	12	7	5	1	1	1	1	1	1	5					
2月20日	月	17:00-21:30	②	初心者でもカンタン！ 会社・サービス・商品開発に役立つ講座	マーケティング講座	キャリアアップ・マーケティングスキルアップ講座	受講後の満足度、肯定的評価100%	15	8	5	1	1	1	1	1	1	5					
3月9日	木	18:15-21:15	②	Excel初心者講座	Excel講座（初級編）	パソコンスキルアップ講座	受講後の満足度、肯定的評価100%	15	8	6	1	1	1	1	1	1	6					
3月14日	火	9:30-11:30	③	東松本市と地域企業をつなぐ合同企業ガイダンスin長門	トークワークショップ	東松本市と地域企業をつなぐ合同企業ガイダンスin長門のアイスブレイク	参加者の満足度、肯定的評価99%	-	98	94	1	3	1	1	1	27	3	-				
3月14日	火	13:30-15:00	③	東松本市と地域企業をつなぐ合同企業ガイダンスin長門	合同企業ガイダンス（昼）	東松本市と地域企業をつなぐ合同企業ガイダンス	満足度、肯定的評価94%	-	150	136	11	3	1	1	1	92	-	-				
※特別事業	金	10:00-17:00	①	中小企業塾塾士による個別相談相談会	創業相談	長門市内、産業振興・創業支援	受講後の満足度、肯定的評価100%	-	19	19	-	-	-	-	19	-	19					
臨時事業	毎月第2土曜		②	Zoomの使いかた講座	Zoom利用講座	Zoom利用講座の中、4人のレベルに合わせて受講生の提供	受講後の満足度、肯定的評価100%	臨時事業	-	3	1	-	-	-	1	-	3					

NPO法人つなぐは、若者一人一人が輝く未来をつくるため、地元への就職・創業が実現できる環境を整え、「まち」「ひと」「しごと」のハブ機能を構築し、地域の未来を自ら創造できる人材の育成に寄与することを目的としています。

上記達成に向け、長門市が令和3年3月に発表した、10年先の未来を見据えた経済活性化の指針として「ながと6G構想」も意識して、各事業を展開しました。

詳しくは、各事業の報告をご覧ください。

ながと6G構想 「6つの基本方針と12の取組」との関連

	基本方針	12の取組	関連事業数
1	Gain【獲得】	産業拠点機能の強化	0
		域内連携の強化	0
2	Ground【基盤】	地場産業の基盤強化	0
		先端技術の導入促進	3
3	Growth【育成】	産業人材の創出	13
		先端技術の習得・技能向上	2
4	Gather【集合】	情報発信力の強化	1
		マーケティング力の強化	1
5	Global【世界】	地域間・国際交流の推進	1
		市域を越えた広域ネットワーク	1
6	Gap【差別化】	新たなビジネスモデルの創出	2
		地域資源の価値向上	1

6つの基本方針と12の取組みのうち、5つの項目にて、計25の関係するイベント・講座を実施
 なお、上記に女性に寄り添う相談研修、男女共同参画推進事業は含まず。

支援受入期間	2 ヶ月
支援受入のスタイル	<p>リモート（Web会議、メール、電話）での支援を基本とします （※団体の意向や十分なコロナ対策をとったうえでの現地訪問は可）</p> <p>・ 定期開催方式 定期的なWeb会議を開催し、参加したプロボノワーカーから意見やアドバイスを募ったり、可能な範囲での作業をお願いしたりします。プロボノワーカーは団体ごとに構成されたチームとして活動します。</p>
支援受入の希望曜日 希望開始時間	<p>平日：月・水・木・金 10：00~18:00 ⇒できれば月・木・土を中心に（報告書作成の担当が月木土なので）。</p> <hr/> <p>休日：土・日 10：00~18:00</p>
打合せの開催頻度	隔週 1 回
現地支援について	<p>支援受入 可</p> <p>受入希望タイミング： いつでも</p>

檜原ゆうあい会



山城城探訪会

毎年12月第1日曜日に開催

当団体の活動概要

2007（平成19年）から
下関市豊田町檜原地区を中心に、
花のまちづくりと
自然と歴史の学びの郷の整備、
活用活動を継続

- * 道沿い2000mの花植え
- * 里山、川での自然体験
- * 歴史街道、山城の歴史探訪会
- * お寺での郷土史講座、茶道発表会、観月会開催
- * 街道整備、育苗、草刈り作業
- * 活動の定期発表（4回/年）

解決したい課題

1. 整備作業の人力確保
2. 活動の継続、発展のため活動情報を費用をかけずに、容易に発信したい

創出したい成果・成果物

1. 地域存続の仕組み
2. 関係人口の増加
3. 学びの郷の有効活用

求める人材

1. 情報発信技能者
2. 自然、歴史が好きな人

支援受入期間	
支援受入のスタイル	<p>リモート（Web会議、メール、電話）での支援を基本とします （※団体の意向や十分なコロナ対策をとったうえでの現地訪問は可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期開催方式 定期的なWeb会議を開催し、参加したプロボノワーカーから意見やアドバイスを募ったり、可能な範囲での作業をお願いしたりします。プロボノワーカーは団体ごとに構成されたチームとして活動します。 ・ リレー方式 団体の担当となったプロボノワーカーに対し、団体側から日程等調整のうえ、個別にメールやWeb会議等で相談やお願い事をします。課題解決のフェーズや課題分野ごとに対応するプロボノワーカーが変わってきます。 ・ その他
支援受入の希望曜日 希望開始時間	<p>平日： 月 木 19:00～</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>休日： 日 20:00～</p>
打合せの開催頻度	<p>2週 1回</p>
現地支援について	<p>支援受入 可・否</p> <p>受入希望タイミング： 開始時</p>

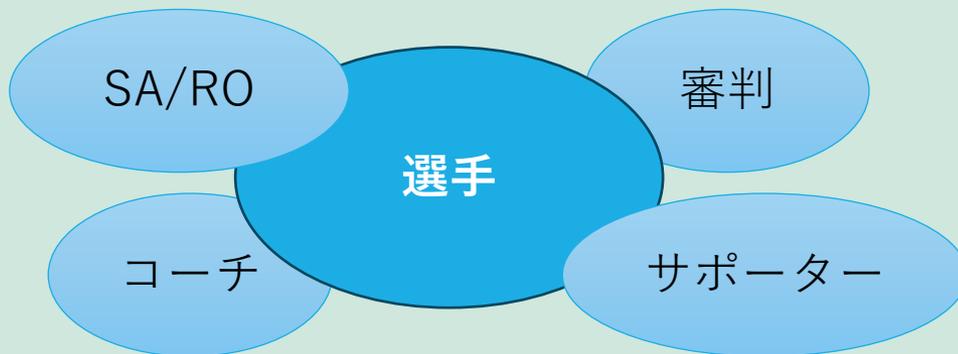
山口県ボッチャ協会



当団体の活動概要

ボッチャ選手 = 重度障害者
外出の機会
地域との交流の機会
自立した日常生活が送れる

障害の有無・老若男女・誰でも



解決したい課題

① アピールツールの作成

動画作成、HP作成、チラシ作成など

- ・ 現在、Facebookでの情報発信だけ
- ・ HPが無いので、大会日程、お知らせ、選手紹介、練習日程、用具、ルール等、基本的な情報発信が出来ていない
- ・ ITに強い者がいないので、どう取り組めば良いか分からない。
- ・ HPの運営費用や更新作業などに悩み

創出したい成果・成果物

- ① 情報発信ツールの充実
- ② 動画制作・チラシの作成
- ③ 応援団が増えて行く

求める人材

- ・ IT弱者に寄り添い、アドバイス頂ける方
- ・ ボッチャが好きの方



<p>支援受入期間</p>	<p>出来るだけ早く開始したい</p>
<p>支援受入のスタイル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調整さんにより日程調整（月1回程度） 20時～または21時～希望 ・ SNS（LINE又はFacebookのメッセージ）を活用しての情報交換や共有を行う ・ 無料で作成出来るHPの紹介とIT弱者でも発信や維持が出来る運営などのアドバイス ・ 動画作成の協力、アドバイス ボランティアに撮影してもらった動画の企画、絵コンテ、撮影方法などの手引き、ノウハウ伝授、撮影後の編集作業についてのアドバイス等
<p>支援受入の希望日時</p>	<p>月水日</p>
<p>支援受入の希望頻度</p>	<p>月1回～2回</p>